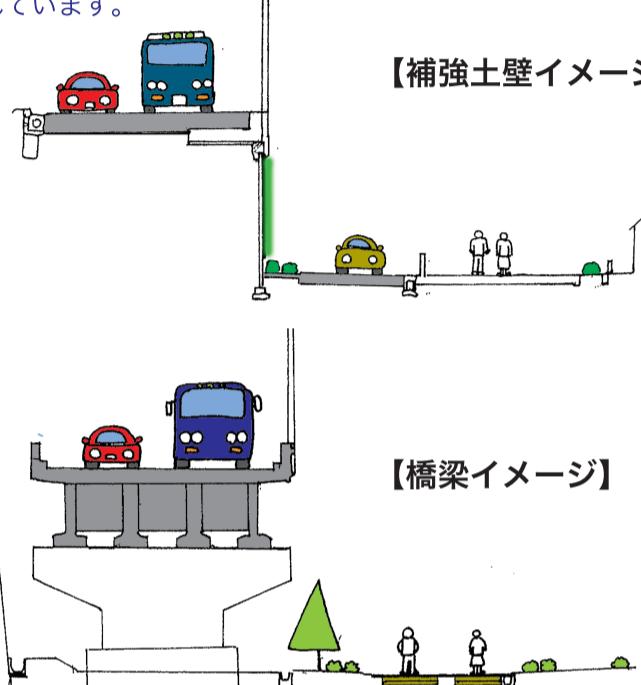


一般国道 122 号蓮田岩槻バイパス整備事業

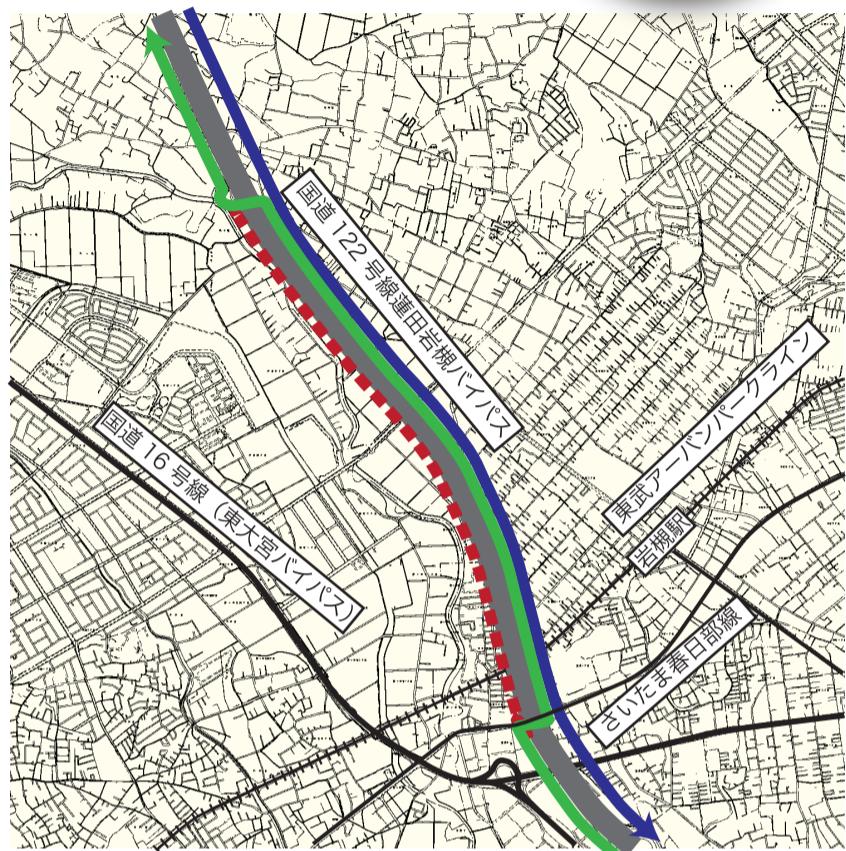
国道 122 号線
渋滞解消に向けて！

一般国道 122 号線が走る加倉地区は、国道 16 号との平面交差やクランク通行により、恒常的な渋滞に悩まされていました。しかし、一般国道 122 号蓮田岩槻バイパスの整備により橋梁化され、順調に工事等が進捗すれば平成 34 年には渋滞が解消され、よりスムーズに通行出来る道路になります。

併せて、蓮田スマートインターチェンジの整備と共にアクセス道路としての役割も大きく、早期の上下 2 車線化の実現と共にますます利便性の高い道路になることが期待されています。



【現在の交通の流れ】



スポーツ文化振興について

岩槻区は、グランドゴルフ、ビーチボールやインディアカなどスポーツの盛んな地区です。また、弓道やターゲットバードゴルフなど専門の施設も充実しており、様々なスポーツにチャレンジすることの出来る地区であります。

また、文化施設も充実しており、様々な文化活動や芸術活動が行われています。

しかし、その中には岩槻市時代から手を入れてない場所や公共のものだから仕方がないという観念から、管理・修繕の行き届かないところも多々あります。

スポーツ施設は生涯スポーツとして、また将来日本に貢献できるようなアスリート育成に繋がる一助として、安心安全に活動できるスポーツ施設にして行かなければならぬし、文化施設は生涯教育として、また芸術家の育成に繋がる一助として、有益な文化芸術の発表の場にして行かなければならぬ。そんな思いからこの質問を致しました。

スポーツ振興について

Q. スポーツ振興まちづくり計画によるさいたま市スポーツ施設の整備運営に関する指針も策定されている。既存の施設について、経年劣化しているものなどの改善要望をどのように受け止め、今後の整備管理運営について進めていくのか。

A. スポーツ環境の整備や管理運営の充実といった面から、利用者へ配慮したサービスの提供やスポーツ施設の機能拡充などを検討していく。今後、各施設の実態に合わせて課題に早期実現できるものや中長期的な視点でしていくものなどを検討していくために、組織的な取り組みを必要と考えていることから、他部局と協力、連携しながら、課題について個別事案を検討し、市民が利用するに安心して使いやすいスポーツ施設の整備を考えていきたい。

文化振興について

Q. さいたま市文化芸術都市創造計画の中に、「既存の施設を利用してその文化都市創造に向けた拠点機能の構築と施設連携」というものがあるが、この施設整備についてとスポーツ文化局と他部局との連携について伺いたい。

A. 今、抱える文化施設の大半は昭和 40 年代に造られている施設で、かなり老朽化も進んでおり、随時耐震化と合わせて大規模修繕、中規模修繕というのを計画的に行っていく予定。また、日頃より利用者アンケートを実施しているので、意見聴取、改善を行っている。

他部局との連携については、さいたま市には文化施設だけでなくコミュニティ施設等もあるので担当課レベルで連絡調整を行っている。



さいたま市の情報や、取り組み
まちの話題が満載です！

